

新年



新年のごあいさつ

人と自然が調和した

豊かなまちを目指して

鴻巣市長 原口 和久

明けましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より、市政の推進にあたりまして、格別のご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年、「元号が「平成」から「令和」へと移り変わる歴史的な一年となりまして、本市にとりましても、市制施行65周年という記念すべき節目の年を迎え、これまで先人たちが築いてきた歴史を振り返り、まちの魅力や郷土への愛着を再認識するとともに、本市のさらなる飛躍に向けて思いを新たにいたしました。

さて、少子高齢化に伴う人口減少の抑制と人口減少社会への適応を見据えたまちづくりが喫緊の課題となる中、昨年は、保育ステーションの開設や保育所園庭の芝生化、産後ケア事業の開始など、妊娠から出産期、子育て期まで切れ目のない支援体制のさらなる充実を図ったほか、本市の若手職員による政策研究事業として、観光大使でプロレスラーの丸藤正道選手を迎えての「筋肉の宴」や、市内中学生・高校生が中心となり企画した「青春U-18フェス」など、若い世代ならではの視点による元

気あふれるイベントが開催され、市内が大いに活気づきました。

一方で、昨年10月の台風19号に際して本市においては、人命やライフラインへの被害はありませんでしたが、道路冠水がおよそ50カ所、住宅の床下浸水が10数件の被害があり、改めて自然災害に対する日頃の備えの重要性を認識したところとです。今回の対応における課題を整理・検証し、早急に風水害対策を講じること、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また、鴻巣市田北本環境資源組合において5年以上にわたり進めてきた新ごみ処理施設建設事業が、建設地を巡る行田市との意見の食い違いにより、残念ながら白紙解消となりました。今後も引き続き、新たなごみ処理施設の整備に向け取り組んでまいります。

そして、本年は、2月18日に、北新宿第二土地区画整理事業地内において、社会教育・児童福祉の拠点となる複合施設「北新宿生涯学習センター」及び「北新宿児童センター」がオープンするのをはじめ、長年にわたり進めてきた鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業が、3月の街区公園のオープンをもって完了いたします。

また、4月より、こども医療費の無料化を、通院についても18歳の年度末まで拡大するほか、現在運行中の70歳以上の方などを対象としたデマンド交通「ひなちゃんタクシー」に加え、全市民を対象とした乗合型デマンド交通の実証運行を開始する予定です。

コウノトリの里づくり事業につきましても、コウノトリの飼育施設の設計が間もなく完了し、飼育するコウノトリを提供してもらうための要望も行うなど、いよいよ飼育の実現が見えてきました。

さらに、本年は、鴻巣市、吹上町、川里町が合併してから15周年の節目を迎えます。市民の日である10月1日に記念式典を挙行するとともに様々な記念事業を実施し、市民の皆さんとともに祝いしたいと思います。

今後、人と自然が調和しながら、豊かな未来を創造することができるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで幸せな年となることを心からご祈念申し上げます。年頭にあたっての挨拶とさせていただきます。

令和元年(平成31年)の主な出来事



鴻巣駅東口駅通り地区再開発ビルが完成（7月）



お子さんを預かり保育施設へ送迎する「保育ステーション」開設（4月）



上谷総合公園サッカー場の人工芝を張り替えリニューアルオープン（2月）



謹賀

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、昨年中は市議会の活動に対して、温かいご理解とご支援を賜り、市議会を代表して、厚く御礼申し上げます。

昨年は、元号が「平成」から「令和」へ改元されました。新天皇の誕生とともに新元号の始まりとなり、新しい時代の始まりと言えるのではないのでしょうか。新しい時代のスタートとともに、世の中がより良い方向へ向かうことを期待しています。

スポーツにおいては、ラグビーワールドカップ2019での、日本代表の活躍もあり日本中が盛り上がりました。「ワンチーム」の日本代表に感動いたしました。

一方、災害においては、台風19号により、東日本を中心に甚大な被害が発生いたしました。本市においても住宅の床下浸水、農業被害などが発生しており、被害にあわれた皆様にはお見舞いを申し上げます。市内には、荒川、元荒川等の大きな河川があり、氾濫により大規模な浸水が発生する可能性

があります。気候変動等もあり、数十年に一度の重大な危機となる水害は、いつ発生するかわかりません。水害への対策は、喫緊の課題となっております。毎年行われている市総合防災訓練に、私たち議員も積極的に参加し、防災・減災等への意識づけを心がけています。

また、昨年は、4月の市議会議員選挙において26名の議員が選出され、5月から第18期の新しい議会が始まりました。新しいメンバーも加わり、鴻巣市議会は、活性化しています。市議会では活発な議論が展開されており、是非、本会議や委員会の傍聴にお越しください。なお、傍聴が難しい方には、本会議のライブ及びビデオでのインターネット配信を行っており、昨年4月からは、スマートフォンやタブレット端末からも見る事ができるよう整備いたしました。是非、ご覧いただければと思います。市議会では、定例会や臨時会のほか、閉会中も活発に活動しています。市議会では市に対して、台風19号対応への諸課題について、提言等を行いました。今後、発生する可能性のあ

る災害に備えた対応策が、検討されるものと考えています。

さて、いよいよ本年は東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年となります。世界中が沸き立つような感動に包まれ、大いに盛り上がることを期待しています。また、その効果として、経済、スポーツ、文化等において日本中が活性化することを期待しています。

市議会は、市民の皆様から様々なご意見を拝聴し、市政にできる限り反映させていく使命があり、地方自治体の意思決定機関として、大変大きな責任を担っています。私たち議員は、誰にとっても、安全・安心な災害に強いまちとなるよう、議員26名が「ワンチーム」となり、住民福祉の向上に誠心誠意努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、市民の皆様にとつてご健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

安全・安心な災害に強いまちへ

鴻巣市議会議長 金子雄一



本市出身で観光大使のプロレスラー丸藤正道選手が躍動！「筋肉の宴」を開催（9月）



鴻巣・生田塚保育所の園庭芝生化を実施（9月）



お母さんのからだところのケア「産後ケア事業」を開始（8月）

